

# 桜も笑顔も満開です



今年は開花が早く、残念ながら見頃は少し過ぎてしまいましたが、ひらひらと舞う桜の花びらを眺めながら、春の散策を楽しみました。

## 緑愛会だより

第101号

〒190-0161

東京都あきる野市入野811

社会福祉法人 緑愛会

指定介護老人福祉施設

あたご苑

あたご苑 ケアハウス

### ご挨拶



施設長

奥秋 有記

平素より、社会福祉法人緑愛会の運営にご尽力、ご支援を賜り、心より御礼申し上げます。

年3回発行している『緑愛会だより』では、事業の活動報告や、利用者様の日常生活を伝え、今回で第101回目の発行となりました。コロナ禍で閉鎖的な環境の中、情報の発信媒体として、今後も皆様方との懸け橋であり続けることを願っております。

さて、新型コロナウイルス感染症の位置づけが、令和5年5月8日に2類相当から5類に引き下げられ、マスクを外しての外出や、外食をする機会が増えてきました。介護の現場では、未だ、感染症対策は不可欠であり実行中となっております。しかし、3年以上も制限のある苑生活を過ごされた利用者様は、コロナ禍以前の生活を待ち望まれ、疲弊されておりますので、対策の緩和が必要であると考えます。特にADLの低下が課題であり、ご家族や地域の皆様との繋がりや回復につきましても尽力いたします。決定している緩和対策としては、陰圧室での面会を終了いたします。ご家族と利用者様の安全な面会を提供してきましたが、「声が遠い」「直接触れたい」との要望が多く聞かれましたので、6月20日より、新館1階に面会ブースを作り、対面式での面会とさせていただきます。飲食はご遠慮

慮いただき、マスクの着用は必須とするものの、より身近なひと時を楽しんでいただければ幸いです。利用者様のADLの維持及びご家族との絆の回復を目指した取り組みとなりますので、ご活用のご程お願い申し上げます。

次に、緑愛会における公益的な取り組みである『新館1階の無料開放事業』を再開し、地域の皆様との交流を深めたいと考えております。貸出品として、卓球台一式、最新のカラオケ機器、当苑の職員が作成したポッチャコートが無料で使用できます。私としては、自治会のポッチャチームとの対戦を実現させたいと暗躍しております。さらに、職業体験学習やボランティアの受け入れなどを予定しており、外出支援も再開していくことで、感染状況を考慮しながら、交流範囲の拡大を目指してまいります。

そして、昨年より開始した外国人雇用事業では、特定技能実習生6名の採用が実現しました。現在、介護福祉士の資格取得を目指して、元氣いっぱいに従事しております。この事業は、外国人との交流を図り、文化を学んだりすることで、お互いの違いを認め、国際的な事業所を目指すものであります。担い手不足の解消に着目する傾向にありますが、『異文化交流』が職員の活性化に繋がり、一番のメリットであると感じております。

最後になりますが、本年度も運営理念であります『生活の質の向上』『人権の尊重と自立支援』『地域との交流』を推進してまいりますので、皆様からのお力添えをお願いいたします。